

2006年11月8日

2007年(平成19年)3月期 中間決算説明資料

東レ株式会社

目次

2007年3月期中間期決算概要(連結)

- ・連結業績の概要(収益) (P4)
- ・営業外収支 (P5)
- ・特別損益 (P6)
- ・連結業績の概要(財政状態) (P7-8)
- ・設備投資額・減価償却費 (P9)
- ・事業セグメント別業績 (P10-16)
- ・事業セグメント別1Q時見通しと実績比較 (P17)
- ・営業利益増減要因分析 (P18)
- ・主要子会社収益状況 (P19)
- ・研究開発費・従業員数 (P20)
- ・関係会社の異動 (P21)

2007年3月期業績見通し(連結)

- ・連結業績見通し (P23)
- ・事業セグメント別業績見通し (P24)
- ・事業セグメント別事業環境
とアクションプラン (P25)
- ・設備投資額・減価償却費・
研究開発費見通し (P26)

2007年3月期中間期単体決算概要

および2007年3月期単体業績見通し

- ・単体業績の概要(収益) (P28)
- ・単体業績の概要(財政状態) (P29)
- ・2007年3月期単体業績見通し (P30)

・ 2007年3月期中間期 決算概要(連結)

連結業績の概要(収益)

億円

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減
売上高	6,788	7,462	+674 (+9.9%)
売上原価	5,367	5,941	+573 (+10.7%)
売上総利益	1,421	1,521	+101 (+7.1%)
(売上高総利益率)	20.9%	20.4%	-0.5 ポイント
販売費及び 一般管理費	1,032	1,092	+60 (+5.8%)
(売上高販管費比率)	15.2%	14.6%	-0.6 ポイント
営業利益	388	429	+41 (+10.5%)
(売上高営業利益率)	5.7%	5.7%	+0.0 ポイント
営業外収支	20	24	-4 (-)
経常利益	368	405	+37 (+10.1%)
特別損益	60	111	-51 (-)
税前利益	309	294	-14 (-4.6%)
中間純利益	168	280	+113 (+67.5%)

1株当たり中間純利益	11.96円	20.03円
1株当たり中間配当金	4.0円	5.0円

為替レート

		(前中間期)	(当中間期)
<円/US\$>	期中平均	: 109.5	115.4
	期末	: 113.2	117.9
		(前中間期)	(当中間期)
<円/ユーロ>	期中平均	: 135.6	146.0
	期末	: 136.1	149.8

(注) 3月期決算会社は4～9月の業績,
12月期決算会社は1～6月の業績を連結

営業外収支

億円

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	特記事項
営業外収益	62	88	+26	
受取利息及び配当金	14	15	+2	
持分法による投資利益	21	40	+19	国内関連会社の収益拡大等
雑収益	28	33	+5	
営業外費用	83	112	-29	
支払利息	39	45	-6	
雑損失	44	67	-24	新規設備操業開始に伴う試運転等の費用増加
営業外収支	20	24	-4	
金融収支	25	29	-4	
雑収支	16	35	-19	

注) 収益はプラス、費用はマイナス()で表示

特別損益

億円

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	特記事項
特別利益	21	64	+43	
有形固定資産売却益	5	6	+1	
投資有価証券売却益	16	58	+43	保有意義の低下した株式の売却等
特別損失	80	175	-94	
有形固定資産売却廃棄損	14	16	-3	
減損損失	17	128	-111	子会社の固定資産の減損
投資有価証券評価損	1	1	-0	
関係会社整理・評価損	9	14	-5	
構造改善費用	5	9	-3	
退職給付制度改定損失	14	-	+14	
在外子会社退職給付引当損	19	6	+13	
その他	1	0	+1	
ネット特別損益	60	111	-51	

注) 収益はプラス、費用はマイナス()で表示

連結業績の概要(財政状態)

億円

	06年3月末	06年9月末	増減	特記事項
資産合計	15,374	15,618	+244	
流動資産	6,623	6,866	+243	棚卸資産の増加等
有形固定資産	5,862	5,949	+87	
無形固定資産	115	123	+8	
投資その他	2,774	2,681	-93	

	06年3月末	06年9月末	増減	特記事項
負債合計	9,467	9,571	+104	
流動負債	5,379	5,893	+514	借入金の増加等
固定負債	4,088	3,678	-411	長期借入金および繰延税金負債の減少等
少数株主持分	537	-	-	
資本合計	5,370	-	-	
純資産合計	-	6,047	-	
有利子負債残高	4,844	5,074	+230	設備投資の増加等
D / Eレシオ*	0.90	0.92	+0.02	

*06年3月末は、有利子負債残高 / 資本合計

06年9月末は、有利子負債残高 / 自己資本 (自己資本 = 純資産 - 少数株主持分)

連結業績の概要(財政状態)

億円

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減
ROE ^{*1}	7.2%	10.3%	+3.2 ポイント
ROA ^{*2}	5.5%	5.5%	+0.0 ポイント
フリー・キャッシュ・フロー	271	406	-135

<フリー・キャッシュ・フロー明細>

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減
営業活動	315	170	-145 (-46.1%)
投資活動	586	576	+11
フリー・キャッシュ・フロー	271	406	-135

*1 06年3月期中間期はROE = 中間純利益 / 株主資本

07年3月期中間期はROE = 中間純利益 / {(06年3月末株主資本 + 06年9月末自己資本) ÷ 2}

*2 ROA = 営業利益 / 総資産

注) ROE、ROAはいずれも年率換算値

設備投資額・減価償却費

億円

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	特記事項
設備投資額	318	514	+195	東レ:221、国内:46、海外:247
減価償却費	304	334	+30	東レ:130、国内:49、海外:156
振替・除却等	24	93	-117	
有形固定資産増減	38	87		

主な設備投資：

<国内>	東レ	:炭素繊維・プリプレグ設備	2007年1月稼働予定
<海外>	SOFICAR	:炭素繊維設備(フランス)	2007年8月稼働予定
	TSI	:フィルム加工設備(韓国)	2006年3月稼働
	TJQ	:ポリエステル・綿混織物設備(中国)	2006年4月稼働

事業セグメント別業績(売上高 / 営業利益)

億円

	売上高			営業利益		
	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減
繊維	2,887	3,018	+131 (+4.5%)	104	95	-9 (-8.6%)
プラスチック・ケミカル	1,588	1,846	+258 (+16.2%)	86	87	+0 (+0.5%)
情報通信材料・機器	1,111	1,278	+166 (+15.0%)	131	145	+14 (+10.9%)
炭素繊維複合材料	244	319	+75 (+30.7%)	59	88	+29 (+49.8%)
環境・エンジニアリング	619	678	+59 (+9.5%)	12	1	+13 (-)
ライセンスその他	337	323	-14 (-4.3%)	20	20	-1 (-2.6%)
(内医薬・医療材)	203	200	-3 (-1.6%)	6	6	-0 (-6.3%)
計	6,788	7,462	+674 (+9.9%)	388	436	+47 (+12.2%)
消去又は全社				0	7	-7
連結	6,788	7,462	+674 (+9.9%)	388	429	+41 (+10.5%)

事業セグメント別業績(繊維)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	
東レ	599	628	+29 (+4.8%)	43	36	-6 (-15.0%)	テキスタイルが輸出を中心に好調に推移したが、全体としては原燃料価格の影響を価格転嫁と高付加価値品へのシフトでカバー仕切れず、減益。
国内	1,466	1,483	+16 (+1.1%)	40	48	+8 (+21.2%)	商事子会社が拡販に努め、増収増益。
海外	822	908	+85 (+10.4%)	20	12	-8 (-39.2%)	中国事業の改善が進むも、インドネシア事業が燃料価格高騰の影響を強く受け、英国子会社の不振等もあり、増収減益。
修正				1	2	-3	
計	2,887	3,018	+131 (+4.5%)	104	95	-9 (-8.6%)	

< 主要関係会社 >

国内：東レインターナショナル、一村産業、蝶理 他

アジア：PENFABRIC(マレーシア)、LUCKYTEX(タイ)、ITS(インドネシア)、TFNL(中国) 他

欧米：ALCANTARA(イタリア) 他

事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	
東レ	384	431	+47 (+12.2%)	20	16	-4 (-20.3%)	樹脂は自動車用途を中心に、フィルムは工業材料用途を中心に拡販し、増収。原燃料価格高騰の影響等もあり、減益。
国内	621	710	+88 (+14.2%)	35	48	+13 (+37.4%)	樹脂・フィルム・ケミカル・商事の各子会社とも堅調に推移し、増収増益。
海外	583	707	+124 (+21.3%)	34	20	-14 (-42.0%)	中国樹脂子会社や米国フィルム子会社が拡販に努めたこと等により、増収。韓国フィルム子会社が情報通信材料へのシフトを戦略的に推進したことと欧州フィルム子会社不振等により、減益。
修正				3	3	+6	
計	1,588	1,846	+258 (+16.2%)	86	87	+0 (+0.5%)	

< 主要関係会社 >

国内：東レフィルム加工、東レ・ファインケミカル、曾田香料、蝶理 他

海外：TPA(アメリカ)、TPM(マレーシア)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

事業セグメント別業績(情報通信材料・機器)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	
東レ	431	522	+91 (+21.1%)	83	77	-6 (-7.4%)	IT関連樹脂・フィルム、PDP関連材料、半導体関連材料等の拡販を進め、増収。カラーフィルターの競争激化による価格低下の影響、及びPETフィルムの原燃料価格高騰の影響等もあり、減益。
国内	432	422	-10 (-2.3%)	37	42	+5 (+12.2%)	フィルム加工子会社は拡販を進め、増収増益も、商事子会社が減収となり、全体では、減収増益。
海外	248	334	+86 (+34.4%)	9	26	+16 (+176.1%)	韓国子会社のFPD・電子部品関連フィルムの拡販等により、増収増益。
修正				1	1	-1	
計	1,111	1,278	+166 (+15.0%)	131	145	+14 (+10.9%)	

< 主要関係会社 >

国内：東レエンジニアリング、東レフィルム加工 他

海外：TPA(アメリカ)、TPEu(フランス)、TSI(韓国)、STEMCO(韓国) 他

事業セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	
東レ	225	263	+39 (+17.2%)	37	50	+13 (+33.7%)	航空機用途、産業用途とも順調に拡大する需要に対応し、炭素繊維、中間基材、成型品それぞれ拡販に努め、増収増益。
国内	136	177	+41 (+30.2%)	1	2	+1 (+70.2%)	商事子会社が順調に拡販を進め、増収増益。
海外	195	258	+63 (+32.1%)	22	45	+23 (+101.5%)	航空機用途、産業用途とも順調に需要が拡大し、1月に増設設備が稼働した米国子会社の増産効果もあり、増収増益。
修正	312	379	-68	1	8	-6	
計	244	319	+75 (+30.7%)	59	88	+29 (+49.8%)	

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大き
く、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

< 主要関係会社 >

国内：東レインターナショナル

海外：SOFICAR (フランス)、CFA (アメリカ)、TCA (アメリカ)

事業セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減	
東レ	33	38	+4 (+12.5%)	3	6	-3 (-)	水処理事業が逆浸透膜等の拡販を進め、増収となるも、開発費の増加等もあり、減益。
国内	581	638	+57 (+9.9%)	7	7	+14 (-)	建設子会社、エンジニアリング子会社とも拡販を進め、増収、利益改善。
海外	5	3	-3 (-49.8%)	0	0	-0 (-)	
修正				2	0	+2	
計	619	678	+59 (+9.5%)	12	1	+13 (-)	

< 主要関係会社 >

国内：東レ建設、東レエンジニアリング、東レACE、水道機工 他

事業セグメント別業績(ライフサイエンスその他)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	06年3月期中間期	07年3月期中間期	増減	06年3月期中間期	07年3月期中間期	増減	
東レ	51	45	-6 (-12.6%)	1	0	-1 (-)	医薬事業は、“フエロン”が効能追加により、販売数量増となるも、薬価改定の影響等により、減収減益。
国内	266	269	+2 (+0.8%)	16	18	+1 (+8.1%)	人工腎臓の拡販等により、増収増益。
海外	20	10	-10 (-51.2%)	0	1	+0 (+88.1%)	
修正				2	1	-1	
計	337	323	-14 (-4.3%)	20	20	-1 (-2.6%)	
(内医薬・医療材)	203	200	-3 (-1.6%)	6	6	-0 (-6.3%)	

< 主要関係会社 >

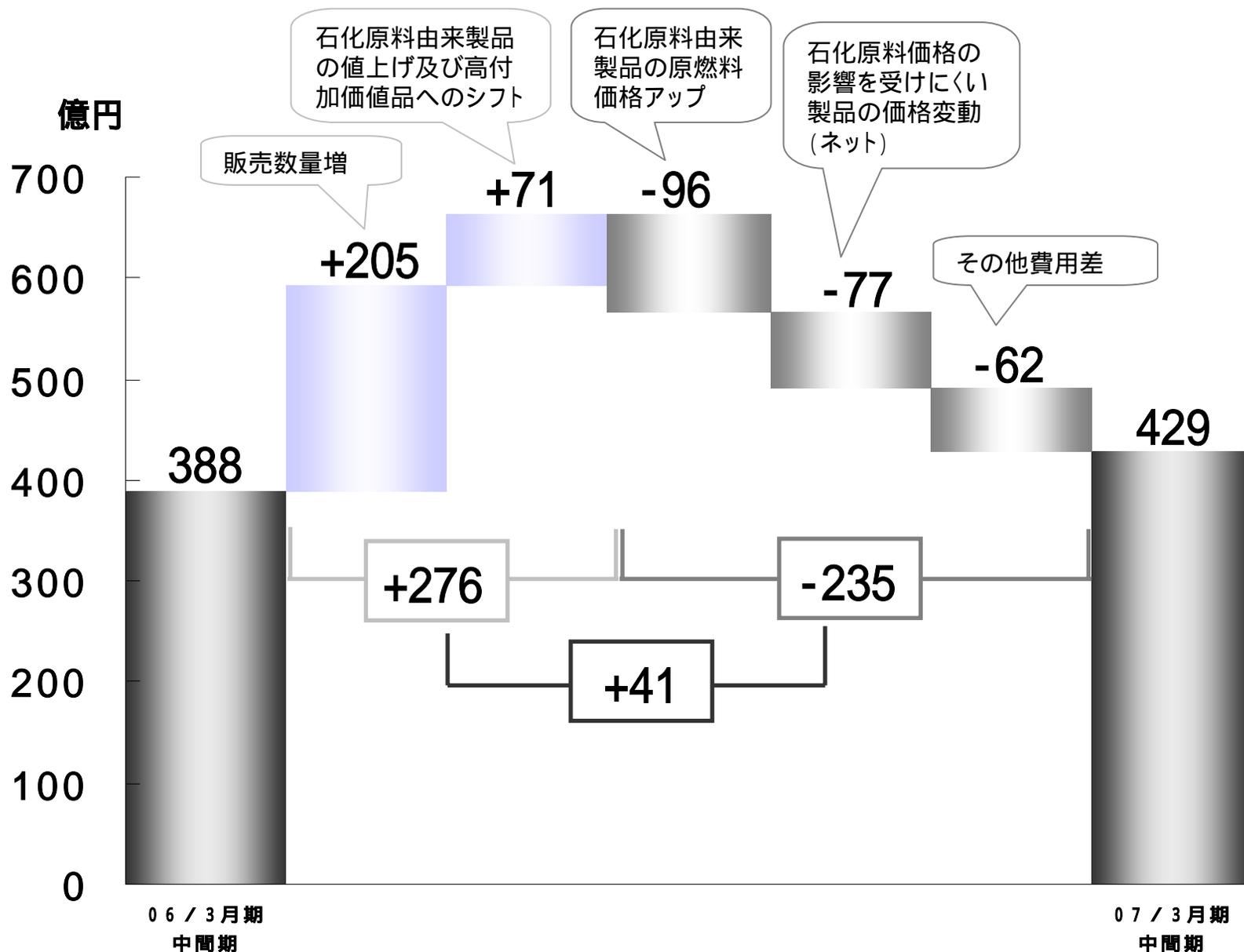
国内：東レ・メディカル、東レリサーチセンター、東レインタープライズ 他

事業セグメント別1Q時見通しと実績比較

億円

事業セグメント	中間期売上高 1Q見通し 実績 ()内差異	中間期営業利益 1Q見通し 実績 ()内差異	差異理由
繊維	2,900 3,018 (+118)	90 95 (+5)	・東レおよび商事子会社のテキスタイル輸出が堅調に推移。 ・原燃料価格高騰に対する価格転嫁と高付加価値品へのシフトに注力。
プラスチック ・ケミカル	1,750 1,846 (+96)	75 87 (+12)	・国内商事子会社、アジアの樹脂・フィルム子会社等が拡販。 ・原燃料価格高騰に対する価格転嫁と高付加価値品へのシフトに注力。
情報通信材料 ・機器	1,350 1,278 (-72)	155 145 (-10)	・ユーザーの在庫調整の影響を受け、フィルム加工子会社の回路材料が減速。 ・IT関連機器の売上の一部が下期にずれ込み。
炭素繊維 複合材料	300 319 (+19)	95 88 (-7)	・航空機・産業・スポーツ各用途とも販売は好調に推移。 ・グローバルオペレーションの増加に伴う未実現利益の消去額の増加等。
環境・エンジニアリング	600 678 (+78)	0 1 (+1)	・建設子会社のマンション販売が好調に推移。
ライフサイエンス その他	350 323 (-27)	15 20 (+5)	・医薬・医療材は堅調に推移。
消去または全社		0 7 (-7)	
連結	7,250 7,462 (+212)	430 429 (-1)	

営業利益増減要因分析



主要子会社収益状況

億円

	売上高			営業利益		
	06年 3月期 中間期	07年 3月期 中間期	増減	06年 3月期 中間期	07年 3月期 中間期	増減
東レインターナショナル	1,587	1,829	+242	17	22	+5
東レエンジニアリング	458	477	+18	19	27	+8
東レ建設	189	243	+54	2	10	+8
東レフィルム加工	183	215	+32	20	25	+5
T S I	340	393	+53	16	19	+3
T P M	196	231	+35	8	10	+3
在外・フィルム子会社 ^{*1}	519	588	+69	28	23	-5
在外・炭素繊維子会社 ^{*2}	167	225	+57	22	44	+22
在中国・子会社(17社) ^{*3}	408	541	+133	5	5	+10
在東南アジア・繊維子会社 ^{*4}	461	523	+62	22	9	-13

*1: T S I(フィルム)、Penfibre(フィルム)、TPA、TPEu 単純合計 *2: Soficar、CFA、TCA 単純合計

*3: TFNL、TSD、TCH、TJQ、TAK/TAZ、TPHK/TPSZ、RKH/RKZ、TFH/TFZ、THK - G、TSL 単純合計

*4: ITS、ETX、I STEM、ACTEM、CENTEX、Penfibre(繊維)、PAB - G、TTS(繊維)、LTX、TTTM 単純合計

研究開発費・従業員数

研究開発費

億円

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減
東レ単体	159	171	+12
連結子会社	35	41	+6
連結ベース	195	212	+17

従業員数

人

	05年9月末	06年3月末	06年9月末	前期末比増減
東レ単体	6,721	6,595	6,915	+320
国内連結子会社	9,687	9,617	9,637	+20
海外連結子会社	17,887	18,458	19,680	+1,222
合計	34,295	34,670	36,232	+1,562

関係会社の異動

		06年3月末	06年9月末	増減
連結子会社 (a)	国内	67	67	±0
	海外	71	76	+5
	計	138	143	+5
持分法適用子会社 (b)	国内	38	38	±0
	海外	21	22	+1
	計	59	60	+1
子会社計 (a) + (b)	国内	105	105	±0
	海外	92	98	+6
	計	197	203	+6
持分法適用関連会社 (c)	国内	17	17	±0
	海外	24	24	±0
	計	41	41	±0
連結対象会社 合計 (a) + (b)	国内	122	122	±0
	海外	116	122	+6
	計	238	244	+6

・ 2007年3月期 業績見通し(連結)

連結業績見通し

億円

		06年3月期 実績	07年3月期 見通し	増減	
売上高	上期	6,788	7,462	+674	(+9.9%)
	下期	7,487	8,038	+551	(+7.4%)
	通期	14,275	15,500	+1,225	(+8.6%)
営業利益	上期	388	429	+41	(+10.5%)
	下期	542	611	+69	(+12.7%)
	通期	930	1,040	+110	(+11.8%)
経常利益	上期	368	405	+37	(+10.1%)
	下期	508	605	+96	(+19.0%)
	通期	877	1,010	+134	(+15.2%)
当期純利益	上期	168	280	+113	(+67.5%)
	下期	307	310	+3	(+1.0%)
	通期	474	590	+116	(+24.4%)

1株当たり 当期純利益	上期	11.96円	20.03円
	下期	21.76円	22.11円
	通期	33.72円	42.14円
1株当たり 配当金	上期	4.0円	5.0円
	下期	4.0円	5.0円
	通期	8.0円	10.0円
配当性向	上期	33.4%	25.0%
	下期	18.4%	22.6%
	通期	23.7%	23.7%

(通期営業利益見通しに対する中間期進捗率)

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期
中間期営業利益	388	429
通期営業利益 06年3月期は実績 07年3月期は見通し	930	1,040
中間期進捗率	41.7%	41.3%

想定為替レート(2006年10月～2007年3月): 115円/US\$、145円/ユーロ
 想定原油価格(2006年10月～2006年12月): 62US\$/B(ドバイFOB)
 (2007年1月～2007年3月): 65US\$/B(ドバイFOB)

事業セグメント別業績見通し(売上高 / 営業利益)

億円

		売上高			営業利益				特記事項
		06年 3月期	07年 3月期	増減 (%)	06年 3月期	07年 3月期	増減 (%)		
繊維	上期	2,887	3,018	+131 (+4.5%)	104	95	-9 (-8.6%)	原材料価格が高値圏で推移する等、厳しい環境の中、価格転嫁及び高付加価値品へのシフトを進めるも、上期の営業利益の落ち込みをカバーできず、前期比増収なるも減益の見通し。	
	下期	2,918	3,032	+114 (+3.9%)	103	105	+2 (+2.0%)		
	通期	5,805	6,050	+245 (+4.2%)	207	200	-7 (-3.3%)		
プラスチック・ケミカル	上期	1,588	1,846	+258 (+16.2%)	86	87	+0 (+0.5%)	原材料価格が高値圏で推移するも、自動車用途の樹脂や包装材料・工業材料用のフィルム及びフィルム加工品の拡販を進めるとともに、価格転嫁も進め、前期比増収増益の見通し。	
	下期	1,791	1,904	+113 (+6.3%)	99	108	+10 (+9.9%)		
	通期	3,380	3,750	+370 (+11.0%)	185	195	+10 (+5.5%)		
情報通信材料・機器	上期	1,111	1,278	+166 (+15.0%)	131	145	+14 (+10.9%)	上期にLCDパネルの在庫調整があったものの、回復基調にあるLCD、及び堅調に拡大しているPDP向け部材の拡販を進めるとともに、下期から稼働を開始した光学用厚物PETフィルムの改造ラインの増産・増販効果もあり、前期比増収増益の見通し。	
	下期	1,239	1,472	+234 (+18.9%)	182	205	+23 (+12.7%)		
	通期	2,350	2,750	+400 (+17.0%)	313	350	+37 (+11.9%)		
炭素繊維複合材料	上期	244	319	+75 (+30.7%)	59	88	+29 (+49.8%)	航空機、一般産業、スポーツ全用途での旺盛な需要に加え、米国子会社の増産・増販効果もあり、前期比増収増益の見通し。	
	下期	283	381	+98 (+34.6%)	59	87	+27 (+46.3%)		
	通期	527	700	+173 (+32.8%)	118	175	+57 (+48.1%)		
環境・エンジニアリング	上期	619	678	+59 (+9.5%)	12	1	+13 (-)	逆浸透膜の拡販を進めることに加え、建設子会社、エンジニアリング子会社が堅調に推移し、前期比増収増益の見通し。	
	下期	922	922	-0 (-0.0%)	61	49	-12 (-19.8%)		
	通期	1,541	1,600	+59 (+3.8%)	49	50	+1 (+1.6%)		
ライセンスその他	上期	337	323	-14 (-4.3%)	20	20	-1 (-2.6%)		
	下期	334	327	-7 (-2.0%)	44	50	+6 (+13.5%)		
	通期	671	650	-21 (-3.2%)	65	70	+5 (+8.5%)		
(内医薬・医療材)	上期	203	200	-3 (-1.6%)	6	6	-0 (-6.3%)	人工腎臓を中心とする医療材の拡販により前期比増収増益の見通し。	
	下期	232	250	+18 (+7.8%)	26	34	+8 (+32.5%)		
	通期	435	450	+15 (+3.4%)	32	40	+8 (+24.7%)		
計	上期	6,788	7,462	+674 (+9.9%)	388	436	+47 (+12.2%)		
	下期	7,487	8,038	+551 (+7.4%)	548	604	+56 (+10.3%)		
	通期	14,275	15,500	+1,225 (+8.6%)	936	1,040	+104 (+11.1%)		
消去又は全社	上期				0	7	-7		
	下期				6	7	+13		
	通期				6	0	+6		
連結	上期	6,788	7,462	+674 (+9.9%)	388	429	+41 (+10.5%)		
	下期	7,487	8,038	+551 (+7.4%)	542	611	+69 (+12.7%)		
	通期	14,275	15,500	+1,225 (+8.6%)	930	1,040	+110 (+11.8%)		

事業セグメント別事業環境とアクションプラン

億円

事業セグメント	営業利益 上期 下期 ()内差異	事業環境	下期のアクションプラン
繊維	95 105 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> 原燃料価格の更なる高騰懸念 	<ul style="list-style-type: none"> 更なる価格転嫁と高付加価値品への転換の推進
プラスチック ・ケミカル	87 108 (+21)	<ul style="list-style-type: none"> 原燃料価格の更なる高騰懸念 アジアにおける薄物汎用フィルムの増産による価格低下懸念 樹脂の需要は自動車・電機用途を中心に堅調に推移 	<ul style="list-style-type: none"> 更なる価格転嫁と高付加価値品への転換の推進 上期に完成したマレーシアPETフィルム新ラインの稼働に伴う拡販
情報通信材料 ・機器	145 205 (+60)	<ul style="list-style-type: none"> 液晶パネルの生産調整は回復基調 値下げ圧力の継続 半導体市場は堅調に推移 	<ul style="list-style-type: none"> 上期にマシン改造が完了し、生産能力が増加した光学用フィルムの拡販 PDP関連材料や半導体関連材料の拡販
炭素繊維 複合材料	88 87 (-1)	<ul style="list-style-type: none"> 各用途とも需要は引き続き旺盛 2007年1月稼働開始予定の愛媛工場新ラインの費用増 	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛工場の新ラインの確実な立ち上げ
環境・ エンジニアリング	1 49 (+48)	<ul style="list-style-type: none"> マンション・建設の大型物件が下期に集中 水道機工は下期型ビジネス 	<ul style="list-style-type: none"> 受注案件のプロジェクト管理徹底 原価低減努力、営業費削減努力の継続的な実施
ライフサイエンス その他	20 50 (+30)	<ul style="list-style-type: none"> 医薬・医療材事業は下期型 	<ul style="list-style-type: none"> 既存医薬品の着実な拡販 人工腎臓新製品の拡販
消去または全社	7 7 (+14)		
連結	429 611 (+182)		

設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し

設備投資額

億円

	06/3月期 実績	07/3月期 見通し	増減
東レ単体	428	530	+102
連結子会社	601	670	+69
連結ベース	1,029	1,200	+171

研究開発費

億円

	06/3月期 実績	07/3月期 見通し	増減
東レ単体	326	340	+14
連結子会社	71	80	+9
連結ベース	397	420	+23

減価償却費

億円

	06/3月期 実績	07/3月期 見通し	増減
東レ単体	261	320	+59
連結子会社	367	420	+53
連結ベース	629	740	+111

**. 2007年3月期中間期
単体決算概要および
2007年3月期
単体業績見通し**

単体業績の概要(収益)

億円

	06年3月期 中間期	07年3月期 中間期	増減
売上高	2,432	2,646	+214 (+8.8%)
売上総利益	607	629	+21 (+3.5%)
(売上高総利益率)	25.0%	23.8%	-1.2 ポイント
販売費及び 一般管理費	426	455	+30 (+7.0%)
(売上高販管費比率)	17.5%	17.2%	-0.3 ポイント
営業利益	182	173	-8 (-4.6%)
(売上高営業利益率)	7.5%	6.5%	-0.9 ポイント
営業外収支	44	23	-21 (-)
経常利益	226	196	-30 (-13.1%)
特別損益	38	189	-151 (-)
中間純利益	128	18	-146 (-)

単体業績の概要(財政状態)

億円

	06年3月末	06年9月末	増減
総資産	9,927	9,689	-238 (-2.4%)
株主資本	4,817	-	- (-)
純資産	-	4,622	- (-)
有利子負債	3,111	3,013	-99 (-3.2%)

	06年3月期中間期	07年3月期中間期	増減
ROE ^{*1}	5.6%	-0.8%	-6.4 ポイント
ROA ^{*2}	4.1%	3.5%	-0.5 ポイント

1株当たり中間純利益	9.10円	1.30円
1株当たり中間配当金	4.0円	5.0円
配当性向	43.9%	-

*1 ROEは、06年3月期中間期は中間純利益 / 株主資本
 07年3月期中間期は中間純利益 / {(06年3月末株主資本 + 06年9月末自己資本) ÷ 2}

*2 ROA = 営業利益 / 総資産

注) ROE、ROAはいずれも年率換算値

2007年3月期単体業績見通し

億円

		06/3月期	07/3月期	増減	
売上高	上期	2,432	2,646	+214	(+8.8%)
	下期	2,562	2,804	+243	(+9.5%)
	通期	4,993	5,450	+457	(+9.1%)
営業利益	上期	182	173	-8	(-4.6%)
	下期	194	237	+43	(+22.1%)
	通期	375	410	+35	(+9.2%)
経常利益	上期	226	196	-30	(-13.1%)
	下期	311	284	-27	(-8.6%)
	通期	536	480	-56	(-10.5%)
当期純利益	上期	128	18	-146	(-)
	下期	114	168	+54	(+47.6%)
	通期	242	150	-92	(-37.9%)
1株当たり当期純利益	上期	9.10円	1.30円		
	下期	8.02円	12.01円		
	通期	17.12円	10.71円		
1株当たり配当金	上期	4.0円	5.0円		
	下期	4.0円	5.0円		
	通期	8.0円	10.0円		
配当性向	上期	43.9%	-		
	下期	49.9%	41.6%		
	通期	46.7%	93.4%		

本資料中の2007年3月期の業績見
通し及び事業計画についての記述
は、現時点における将来の経済環境
予想等の仮定に基づいています。
本資料において当社の将来の業績
を保証するものではありません。